

2017年9月29日

白山市との『防災力向上に係る連携・協力協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、白山市の防災力向上に関し、相互に密接な連携を図るため、石川県白山市（市長：山田 憲昭）と「防災力向上に係る連携・協力協定」を9月29日に締結しましたのでお知らせします。

1. 背景・経緯

損保ジャパン日本興亜は、「住民・行政、NPOなどの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献すること」をCSRの重点課題のひとつにしています。そのための取組みとして、損保ジャパン日本興亜は、地域防災に関するノウハウを活かし、地域防災力の向上と白山市内の防災への取組活性化に貢献するため、白山市に相互協力協定を提案し、このたび締結に至ったものです。

2. 協定の目的

白山市と損保ジャパン日本興亜は、平素から防災への取組みについて相互に密接な連携をすることで、白山市の防災力の向上に寄与し、災害等から市民の生命・身体及び財物を守ることを目的としています。

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みである防災の分野において、以下の項目について連携・協力を行います。

- (1) 白山市の危機管理・防災対策に関すること。
- (2) 防災まちづくりに関すること。
- (3) 市民および事業者の防災意識向上に関すること。
- (4) 地震、噴火、津波などの自然災害に対応する保険の普及に関すること。
- (5) その他、市民および事業者の防災力向上の取組みに関すること。

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体の地域防災力向上のため、安心して暮らせる安全な地域社会を創生することに貢献していきます。

以上